

# 未来を育む岩見沢のスタート

## 平成 26 年度予算の重点的に取り組む分野

市民の満足度を高める行政サービスの展開  
未来を育む安全・健康・文化・環境・自立都市

<p><b>市民とともに築くまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民と行政の連携・協働</li> <li>○ 自立した自治体経営の確立</li> </ul>	<p><b>地域経済の活性化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農林業の振興</li> <li>○ 商工業・観光の振興</li> <li>○ 新産業の創出と雇用の確保</li> </ul>	<p><b>市民の健康な暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども・子育ての支援</li> <li>○ 教育の充実と生涯学習の推進</li> <li>○ 健康・福祉の推進</li> </ul>	<p><b>市民の安全・安心な暮らし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全・安心な体制の確立</li> <li>○ 環境の保全と衛生対策</li> <li>○ 快適な市民生活の基盤整備</li> </ul>
---	--	---	--

市民が安全・安心を実感でき、次代を担う子どもたちが希望にあふれ、輝く未来を育む岩見沢のまちづくり



皆さんの暮らし・暮らしやすさを重点に  
**予算総額 958 億 8,100 万円**

一般会計	511 億円
特別会計	218 億 9,500 万円
企業会計	228 億 8,600 万円

### はじめに

昨年、岩見沢市は開基130年・市制施行70周年を迎え、多くの市民の皆さまとともに祝い、元氣なふるさとを実現し、未来の岩見沢への思いをひとつにすることができました。また、行政サービスに対する市民の皆さまの満足度を高めることを基軸として、「行政改革大綱」・「中長期財政計画」および「職員定員管理計画」を策定し、10年先の未来を見据えたまちづくりの土台を作ることができました。

新年度は、これらの計画等をしつかり踏まえたくえで、着実に具現化を図り、市役所改革と行財政改革に不断に取り組んでまいります。今、私たち地方公共団体を取り巻く環境は、厳しさを増しています。これらの構造的な課題は、岩見沢市にとっても例外ではありません。

### 市政運営の基本姿勢

私は、市長に就任して以来、市政運営の基本は、市民の皆さまとの信頼と申し上げてまいりました。今後この姿勢を堅持し、市民の皆さまの中に向き、多くの方と対話し、ともに知恵を絞り、現場主義のもとで市政への信頼を積み重ねな

著しい人口減少や依然として厳しい地域経済の状況、さらには少子高齢化の急速な進行により、社会構造が大きく変化する中で、行政だけではなく市民、町会(自治会)、市民活動団体、企業、大学など様々な主体の活動による共創・協働があつてこそ、岩見沢のまちを元氣にすることができると考えています。

新年度は、岩見沢のまちの活性化戦略の確立を目指し、オール岩見沢として、まちづくりに取り組んでまいります。

から、常に市民の立場に立つたまちづくりを進め、市民本位の市政、開かれた市政の実現を目指してまいります。

また、厳しい社会情勢、財政環境の中で、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するためには、職員の能力を高め、説明責任を果たしていかなければなりません。

市民の皆さまと行政がパートナーシップを構築していく中で、市役所は、「改善から挑戦、待つから出向く、受領から提案」へと主体的に自己改革し、社会経済情勢に柔軟に対応していくことが求められています。

私は、市役所をサービス業と位置付けています。行政サービスに対する市民の満足度を高めることを常に念頭に置きながら、引き続き各種施策の質・量・スピードを高め、新年度は特に施策の質の向上を図りながら、市民の皆さまが快適かつ安全で安心して、健康で暮らせる市民生活の向上と地域の活性化を図るための取り組みを着実に進め、次の世代に誇りを持って、岩見沢のまちを引き継いでいくことができるよう取り組んでまいります。

新年度は、上記の4点を重点的に取り組む分野に位置付け、市政を運営してまいります。

# 市民の安全・安心な暮らし

市民の安全・安心の確保と生活の質の向上のために

市政の基本である市民の安全・安心の確保と生活の質の向上に資するため、防災対策や雪対策の充実・強化に努めることにも、自然にやさしいごみ処理を基本としたごみの分別、減量、再資源化の推進による循環型社会の形成、市民生活に欠かせない生活道路の計画的整備などを推進します。



●：新規・拡充事業  
○：継続事業

## 安全・安心な体制の確立

### 【防災対策の強化】

- 防災対策事業 《3千313万円》
  - ▽災害時用備蓄品・資機材の充実
  - ▽洪水ハザードマップ（大川川5河川）を全世帯に配布
  - 緊急告知FM放送整備事業 《2千300万円》
    - ▽緊急告知FMラジオ端末の普及を促進
  - 災害心急対策事業 《5千万円》
    - ▽豪雪をはじめ、災害時における迅速な心急対策の実施
  - 消防車両整備事業 《3千328万円》
    - ▽計画的な消防車両の更新
- 【雪対策の推進】
  - 除排雪事業 《10億9千万円》
    - ▽近年の大雪傾向を踏まえた除排雪の体制・水準を確保

### 【安全・安心な生活環境の確保】

- 地域除排雪活動支援事業 《1千786万円》
  - ▽社会福祉協議会と連携し、町会自治会による高齢者世帯等の通路確保を支援
  - ▽高齢者世帯等要件該当世帯に対する屋根の雪下ろし費用の助成
- 町会等管理街路灯維持支援事業 《5千919万円》
  - ▽町会（自治会）等で管理する街路灯の省エネルギー化を推進
  - ▽生活交通確保対策事業《3千684万円》
    - ▽将来を見据えた公共交通のあり方を検討
  - 栗沢地区整備事業 《2千928万円》
    - ▽栗沢支所新庁舎基本・実施設計
    - ▽栗沢駅前広場・栗沢駅跨線橋橋実施設計

## 環境の保全と衛生対策

### 【循環型社会の形成推進】

- 新ごみ処分場建設事業 《33億円》
  - ▽平成27年4月供用開始に向けた、新ごみ処分場の建設3か年事業の3年目（ごみ減量化推進事業 《7千369万円》）
  - ▽分別区分の変更、ごみ有料化に向けた取り組みを推進
- 【環境衛生対策の推進】
  - 墓地霊園管理造成事業《2億3千106万円》
    - ▽緑が丘霊園拡張工事平成26年度一部供用開始）

### 【緑豊かな環境の整備】

- ごみ処理対策事業 《11億3千56万円》
  - ▽公共施設の生ごみ堆肥化を行う施設の改修
  - ▽ごみの減量化、資源化に向けた新たな分別収集や分別区分の変更に伴う、収集曜日や収集コースの見直し
- 利根別原生林保全事業 《6千619万円》
  - ▽大正池の堤体復旧を進めるため、調査・設計を実施
  - ▽利根別原生林の保全や活用のため、遊歩道等のあり方に係る基本構想の策定

## 快適な市民生活の基盤整備

### 【住宅・住環境の整備】

- 道路新設改良事業 《18億8千700万円》
  - ▽道路整備5か年計画や地域要望等に基づき、道路改良舗装、橋梁補修、歩道造成等を実施
- まちづくり推進事業 《385万円》
  - ▽都市計画マスタープランや緑の基本計画に基づき、都市計画の用途地域や都市計画道路、公園等の計画的な見直しを実施
  - 街路事業 《3億1千万円》
    - ▽西20丁目通街路整備を行うための用地・物件補償等を実施
    - ▽東17丁目通街路整備を行うための現況測量・実施設計等を実施
    - ▽1条通および駅前通街路整備を行うための物件補償等を実施
  - 市営住宅建設事業 《3億9千2万円》
    - ▽北5条団地の建て替えを実施2か年工事の2年目）
    - ▽元町団地2号棟の長寿命化工事を実施
    - ▽栗沢栄団地の建て替えに向けた設計等を実施
  - あんしん住まいづくり助成事業《1億22万円》
    - ▽居住環境の向上に資するため、住宅改修費用の一部助成平成26年度で事業終了）
  - 下水道築造事業 《8億763万円》
    - ▽下水道施設の計画的な整備・更新を実施





# 市民の健康な暮らし

子どもの笑顔があふれる社会の実現と誰もが健康で  
生きがいを持って暮らすために

子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもの笑顔があふれる社会の実現に向け、安心できる子育て環境、質の高い教育環境を推進するほか、子どもから高齢者までの誰もが、健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、健康寿命の重要性に着目し、健康の保持・増進、疾病の予防と早期発見・早期治療につながる事業などを推進します。

▽：新規・拡充事業  
○：継続事業



## 健康・福祉の推進

### 【地域福祉の向上】

- ▽ 臨時福祉給付金支給事業 《3億2千100万円》
- ▽ 消費税率の引き上げに伴う、低所得者への影響緩和のための給付金を支給 《121万円》
- ▽ 市民後見推進事業 《121万円》
- ▽ 成年後見制度における市民後見人を養成

### 【健康づくりの推進】

- ▽ 健康寿命延伸事業 《8千548万円》
- ▽ 市民の健康づくりを総合的に支援
- ▽ 健康増進計画策定を実施
- ▽ 後期高齢者人間ドック検診費用の一部を助成
- ▽ 疾病予防推進事業 《1億3千327万円》
- ▽ 疾病・感染症の発症およびまん延予防のため、予防接種事業を実施
- ▽ 風しんの流行抑制のため、予防接種費用の一部を助成

### 【高齢者施策の推進】

- 介護サービス利用者負担軽減事業 《1千276万円》
- ▽ 介護サービスを利用している低所得者を対象とした、利用者負担額の軽減を実施

### 【障がい者施策の推進】

- ▽ 障害者自立支援給付事業 23億4千480万円
- 障害者自立推進事業 《1億3千51万円》
- ▽ 障がいのある人が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な支援を実施
- ▽ 障害児通所支援の利用者負担を無料化
- ▽ 障がい者福祉計画の次期計画を策定

### 【医療体制の充実】

- 医療機械器具等整備事業 《2億2千362万円》
- ▽ 医療機器の整備を計画的に実施
- ▽ X線透視撮影装置ほか35品目を整備

## 子ども・子育ての支援

### 【子育て支援体制の充実】

- ▽ 子育て世帯臨時特例給付金支給事業 《9千600万円》
- ▽ 消費税率の引き上げに伴う、子育て世帯への影響緩和のための給付金を支給
- 不妊治療費助成事業 《1千万円》
- ▽ 体外受精や人工授精などの不妊治療費の一部を助成
- 産前産後ヘルパー事業 《675万円》
- ▽ 産前産後の子育て家庭の身体的・精神的負担を軽減するため、妊娠届時から出産後1年以内の期間、家事・育児の支援を実施
- 子ども・子育て支援事業 《452万円》
- ▽ 子ども・子育て支援法に基づき、岩見沢市子ども・子育て支援事業計画を策定
- 子育て支援拠点整備事業 《788万円》
- ▽ であるる岩見沢に子育て支援の関連部門の集約、1年を通じて利用できる遊び場の整備に向けた、基本・実施設計に取り組み

### 病児保育施設整備事業

- 病児保育施設整備事業 《1千850万円》
- ▽ 病児保育の実施を目指し、専用施設の整備や開設に向けた準備を実施

### 院内保育園整備事業

- ▽ 市内総合病院に院内保育園を整備し、女性の働きやすい職場環境づくりを進め、医師・看護師等の人材確保を推進

### 栗沢地域子育て施設等構想策定事業

- ▽ 栗沢地域の子育て支援や地域交流の活性化を目指し、候補地一帯の利用について検討するため、基本構想を策定
- ブックスタート事業 《189万円》
- ▽ 絵本を通して、親子が心を触れあわせるきっかけづくりを推進

### 【療育体制の充実】

- ▽ 特別支援教育推進事業 《3千312万円》
- ▽ 心身に障がいを持つ児童生徒などに対して、特別支援教育支援員を配置し、適切な就学指導および必要な支援を実施

## 教育の充実と生涯学習の推進

### 【充実した教育環境の整備】

- ▽ 小学校校舎等耐震化事業 《1億956万円》
- ▽ 耐震診断調査結果に基づき、校舎等の耐震化に係る実施設計に取り組み
- 志文小学校校舎等改築事業 《13億3千119万円》
- ▽ 志文小学校校舎および屋内体育館の改築工事を実施（2か年工事の2年目）

### 【生涯学習の推進】

- 市民の学び支援事業 《930万円》
- ▽ いわみざわ市民大学やいわなびチャレンジ・スクールなど、市民の学習活動を推進





# 地域経済の活性化

基幹産業である農業の振興を図るため、農業後継者の確保対策やICTの活用による生産の効率化と省力化などを推進するほか、中小企業のニーズや実態を踏まえた融資制度の見直し、中心市街地の賑わいの創出、地域産業の育成や雇用の創出などを推進し、地域産業・経済の活性化を図ります。



■：新規・拡充事業  
○：継続事業

基幹産業の農業の振興と地域産業・経済の活性化のために

## 農林業の振興

### 【農業の持続的な発展】

- 地域情報化推進事業 《2千469万円》
- ▽ICT活用による農業を推進し、生産の効率化や作業の省力化に取り組む担い手・農業法人等育成支援事業 《4千830万円》
- ▽市独自の新規就農サポート事業の拡充などにより、農業後継者の育成などを推進

## 新産業の創出と雇用の確保

### 【新産業の創出と雇用の確保】

- 雇用促進事業 《2千865万円》
- ▽就職サポートセンターの設置など、地域における雇用対策を実施

## 商工業・観光の振興

### 【活力ある商工業の形成】

- 商工金融円滑化事業《13億6千649万円》
- ▽中小企業の円滑な資金調達に向けた融資・利子補給等を実施

### 【賑わいのある中心市街地の創出】

- 中心市街地活性化対策事業《6千445万円》
- ▽まちなか活性化計画に基づき、中心市街地の活性化を推進
- ポルタビル利用促進事業 《1億8千571万円》
- ▽第1ポルタビルの空調設備改修基金・実施計画を実施
- ▽第2ポルタビルの大規模修繕を実施

### 【魅力ある観光の展開】

- 観光振興事業 《4千510万円》
- ▽岩見沢を主な舞台とした映画の全国公開に合わせ、岩見沢の魅力を積極的に発信

# 市民とともに築くまちづくり

市民と行政の連携・協働と未来に誇りを持って引き継ぐことができるまちづくりのために

急激な人口減少や少子高齢化の進行など、多くの課題に対応するため、市政地区懇談会などを通じて積極的に説明責任を果たしながら、市民ニーズを的確に把握し、市民と行政の連携・協働を促進するとともに、行政改革大綱の基本理念である「経営型行政運営」への転換に向けて、職員の意識改革や能力開発を促し、未来に誇りを持って引き継ぐことができるまちづくりを推進します。

■：新規・拡充事業  
○：継続事業

## 市民と行政の連携・協働

### 【市民と行政の連携・協働】

- 市民参画・協働のまちづくり推進事業《2千728万円》
- ▽市民自らが地域のまちづくりを進める活動を支援するなど、地域の実情に応じた住民自治を推進
- ▽まちづくり基本条例(仮称)の制定に向けた検討・協議を実施

## 自立した自治体経営の確立

### 【効率的な行政経営の推進】

- 公共施設マネジメント推進事業 《1千万円》
- ▽行政改革大綱に基づき、将来を見据えた経営的視点による公共施設のマネジメントを推進

### 【職員の意識改革と能力開発】

- 職員研修事業 《722万円》
- ▽研修専門機関への派遣等を通じて、政策形成能力の向上および専門的知識の習得による職員力の向上を推進

平成26年度の予算は、中長期財政計画を踏まえ、「選択と集中」の視点に立ち、事業目的別予算編成の手法により、必要な事務事業の新設、既存の事務事業の見直しや再構築を行い、各事業の相乗効果を図るとともに、効果的な施策を推進するための集中的な予算配分を行いました。

その結果、一般会計の総額は511億円(前年度比2.0%の増)で、特別会計と企業会計をあわせた全会計の総額は958億8千100万円(前年度比6.2%の増)となりました。

極めて厳しい財政環境の中、財政調整基金から7億4千万円の繰り入れをいたしますが、持続可能な自立した行財政基盤の確立に十分留意するとともに、重点的に取り組む分野として位置づけた施策をはじめ、施策全般にわたり着実に取り組んでまいります。

なお、市政運営に当たりましては、引き続き最少の経費で最大の効果を挙げるといふ地方自治の本旨に沿って、効率的かつ効果的な予算の執行に努めてまいります。

問合せ 市企画室

